



イランカラプテ宣言

2015年に国連総会で「世界津波の日」が制定されたことを機に、翌2016年から毎年開催されてきた「世界津波の日」高校生サミット。本年、私たち44か国の高校生は、四季折々の表情をもつ自然に恵まれた北海道に集い、時に地震や津波、火山噴火、暴風雪などの災害をもたらす自然の脅威とその対応について学びました。

また、私たちは、自然災害から命を守り、より良い復興に向けて何ができるかなど、真剣な話し合いを通じて互いの心に触れあい、世界各国の「きずな」を深めました。

私たちは、こうした成果を国や地域を問わず世界各地の高校生に広め、自然災害への関心を一層高め、自然災害から命を守るために行動することを決意します。

○私たちは、過去の災害について知り、自然災害の現状や原因、防災などについて学び、それを広めていきます。

- ・私たちは、避難訓練を通じた教育や準備など、過去の経験から学び、将来の災害に備えます。
- ・私たちは、ソーシャルメディア、ワークショップ、ゲームや専門家からの助言など、最新の知識を活用し、災害に備えます。

○私たちは、災害への意識を高め、日頃から、災害の種類に応じ自ら安全を確保する行動ができるよう、備えます。

- ・私たちは、自然災害が起きた際に協力できる体制をつくります。
- ・私たちは、相互理解を深めるため、テクノロジーを駆使し、人々のネットワークを広めます。こうした取り組みにより、災害に対する意識を高めていきます。

○私たちは、安全で安心な社会の構築に貢献するため、地域社会の安全活動やより良い復興に向けた取り組みに進んで参加・協力します。

- ・私たちは、災害被害を先達から直に学ぶため、実際の被災地域を積極的に訪れるよう取り組みます。
- ・私たちは、学生と地域との絆を深めるため、地域と学校が協力しあえるプログラムをつくります。
- ・私たちは、新旧のメディアを用い、あらゆる世代に自然災害の情報を発信します。

私たちは、自然の恵みに感謝し、時に災害をもたらす自然の脅威について理解を深めながら、かけがえない自然を守り、自然災害に備えることを宣言します。

2019年9月11日

「世界津波の日」2019高校生サミット in 北海道

